

## 09

もくぞう しょう かん のん りつ ぞう

## 木像聖観音立像



■所在地：小樽市富岡1丁目19番21号

■問合せ先：浅草観音寺 (TEL 0134-22-4869／拝観の際は事前に御連絡ください)

明治初頭、本州各地では「神仏分離令」により、廃仏毀釈が行われました。従来の幕府や藩からの経済的支援等も失われ、当時の本州では、3分の1から半分ほどの寺院が無くなった地域もあると考えられています。

一方北海道では、入植した人々の心の拠り所として仏教を求める声が強くなりました。これに応えようと、本州の僧侶や修行僧も多く北海道に渡り、明治10年頃から、本州で無くなった寺院の名前を受け継いだ新たな寺院が建立されました。この際、多くの仏像も本州から招来されてきました。

その代表例が、浅草観音寺木造聖観音立像です。浅草観音寺は明治30(1897)年に、京都聖護院の<sup>うもんいん</sup>有門院を移転する形で現地に建立され、聖観音像はその際に有門院から招来されたと伝えられています。

聖観音像は平安時代前期(10世紀頃)の作で、道内で確認されたものの中では最古の仏像の一つです。サクラ材による一木造で、右手の肘より先、左手の肩より先を別材で補修しています。現在合掌している両手は、本来は左手に蓮の花か水瓶を持ち、右手を軽く添える形であったと考えられています。顔や胴体など主要な部分は約1,000年前の姿をよく残しており、丸顔に小ぶりの目と鼻、筒形の冠が特徴です。10世紀後半に京都・滋賀周辺で造られていた「<sup>こうじょう</sup>康尚様式」に倣い作成されており、たいへん穏やかな顔つきをしています。

## ●キーワード：聖観音

観音とは菩薩(悟りをめざす姿。さらに現世の衆生を導く姿)の一つが、人々の苦しむ声を聴き、救いを与える「観世音菩薩」のこと。「聖観音」は千手などの超人的な姿ではない、観音像のこと。



【写真】木造聖観音立像